

◆日本共産党は今年創立104年。暮らし・平和・人権

国民のためにブレずにはたります。

休日当番病・医院

5月17日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 苦小牧日翔病院 矢代町 72-7000
- ◆歯科 うのデンタルクリニック 青雲町 61-4618

療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。



法律相談

しんぶん赤旗読者のための
親身な相談で定評

5月25日(月)
川上 有 弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込56-5002



日本共産党
民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
日本共産党市議団ホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

共産党が憲法記念日宣伝 小野寺委員長 改憲させない!

戦争への道阻止 苦小牧から平和の波大きく



高市首相が「来年の党大会を改憲発議の目処をつけたい」と公言したなかでの憲法記念日の3日、日本共産党苦小牧地区委員会(小野寺幸恵委員長)と同党後援会は、「平和憲法守れ!」スタンプディング」を双葉三条通(バイパス)交差点の勤医協入り口で行いました。後援会員ら約40人が参加し、プラカードやアピールグッズをもって、憲法改悪反対の声をあげました。

小野寺委員長(苦小牧市議)は、「平和憲法が施行されて79年間、戦闘で一人も殺さず、殺されてきていません。平和憲法はかつての侵略戦争への反省から制定されたもので、国民の命を守る盾となり、平

和國家の信頼を勝ちとつてきています」「高市首相は、憲法を変え、戦争への道に進もうとしています。改憲を許さず日本を戦争する国にしてはなりません。未来の子どもたちのために、苦小牧から平和の波を大きく広げていきましょう」と呼びかけました。

参加者らは交互にマイクを握り訴えました。「ロシアや米、イスラエルが戦争をし、多くの命を奪っています。いまこそ平和憲法をもつ日本政府は、戦争を止めよと訴える

役割を果たすべき時です」「憲法に自衛隊を書き込むと、戦争できる仕組みがつくられてしまいます。戦争で殺し殺されるのが現実になりかねません」「憲法は国民が国を縛るためのルールです。戦争を永久に放棄すると刻んだのは、戦争する権力者が現れないよう縛るためです。9条を変えずにありませぬ」。

快晴の下、通りかかった人たちが車から応援のサインを送られました。

団結して賃上実現し 平和守ろう

メーデー集会 150人こぼし上げる

「憲法9条改悪反対」「大幅賃上げ実現」「労働法制改悪阻止」などを訴えて、第97回メーデー苦小牧集会が1日、雨天のため会場をアイビー・プラザに移し、個人や23団体から150人が参加して開かれました。



横山傑実行委員長(苦小牧地区労連議長)は、「必死に志をもって教育現場にたつ先生が途中で退いていくことが増えており、それは医療や介護、中小企業などでも起きていて、残念です。働く者の専



門性などが発揮でき、働き続けられる現場を確保し、戦争に反対し、地域を支え、互いに尊敬しあえる連帯を実現しよう」とあいさつしました。

来賓として、金澤俊苦小牧市長、日本共産党苦小牧地区の小野寺幸恵委員長、とまこまい広域農協の松原正明理事が出席しあいさつ。金澤市長は、「将来を担う世代や子どもたちに平和のありかたを考えていきたい。より良い環境が少しでも進んでいくよう支援していきたい」と強調。

小野寺委員長は、「ウクライナ、ガザでのジェノサイド、イランなど世界中で戦闘が続いており、このメーデーで戦争のない平和を目指すことを誓い合いたい」「高市首相は、残業時間を増やしても働けと強制し、強い経済をつくろうと言っている。8時間労働を守り、働くみなさんが豊かになり、自由な時間をもてるようになるよう力を尽くしたい」と訴えました。

松原理事は、「飼料やエネルギー価格が高騰し、石油関連資材が手に入らなくなる心配がある。平和になることを

核兵器禁止条約の批准を 大軍拡反対!
外交で平和を
日本共産党

美々川沿い倉庫建設見直しへ

富岡市議

開発と自然保全の矛盾追及



市民らの反対相次ぐ

苦小牧市は4月30日、建物の建設が規制されている美沢地区を流れる美々川沿いに倉庫などの建設を認める方針について、北海道のパブリックコメントや市に反対の声が多数寄せられたことから見直す

と発表しました。市都市計画審議会は1月、美沢地区の建物建築が原則禁止されている市街化調整区域について、市が認めれば建築可能とする方針を承認しました。最先端半導体の製造をめざす「ラピダス」の千歳工場にかかわる倉庫の建設を認めようとするためです。

日本共産党の富岡隆議員は3月の一般会計予算審議のなかで、美々川隣接地の開発緩和について質疑し、「所管委員会にも諮らないで進めたこ

赤旗日刊紙を友として
月3497円
購読をお勧めします

「憲法9条改悪に反対する請願署名」に「協力をお願いします」。

とも大問題であり、審議会では委員が2名も欠席している。自然環境保護団体に、事前に丁寧に意見を聞くことができたのに、何故やらなかったのか、順番が逆ではないか。進め方があまりにもひどい」と追及。担当課は、「道の都市計画担当部署と事前協議を進めてきた。市で方針を作り、審議会へ答申し、承認を得られたら、道の都市計画区域マスタープランの改定に進められるという話があり、審議会に諮ってきた。次回からの手続きについては、丁寧な対応に努めていく」と繰り返すだけでした。



平和憲法守ろうと訴える畠山・紙両氏

富岡委員は、次回からではなく、今の問題だとし、「市はこれまで道に対して重点要望事項として、美々川自然再生事業の促進を求めている」と開発と自然保全の矛盾を指摘。「市として自然環境保全に最大限考慮しなければならぬ場所であり、これを許したら悪しき前例になり、市街化無調整地域になるのではなか」と強く追及しました。担当課は、「もともと自然環境保全地域であり、道も美々川自然再生事業を実施。市としても大事にすべきエリアであると認識している」とのべ

ながら、「今後8月の審議会ではパブリックコメントの意見を示し、必要な内容を吟味していく。市として相談窓口を設け、野鳥の会さんとは事業者の具体的な提案があったときに協議することを了解した」と答えていました。

市の見直し発表を受けて富岡委員は、「もともとこの地域は、市も認めているように、自然環境保全地域であり、毎年市が重点要望事項として道に求めているところです。自

ながら、「今後8月の審議会ではパブリックコメントの意見を示し、必要な内容を吟味していく。市として相談窓口を設け、野鳥の会さんとは事業者の具体的な提案があったときに協議することを了解した」と答えていました。

然保護団体や専門家の意見も聞かず、市が勝手に方針を作り、審議会に諮ったこと自体大問題です。道のパブリックコメントや市への反対の意見が多く寄せられたことも当然です。日本共産党市議団としても撤回するまでがんばります」と表明しました。

今こそ憲法守り生かそう

紙・畠山氏ら宣伝

高市政権ノーの声を

憲法の施行から79年を迎えた憲法記念日の3日、紙智子前参院議員や畠山和也元衆院議員らは、札幌市白石区の下鉄駅前街頭宣伝を繰り広げました。

批判。この日の「日曜討論」で山添拓参院議員が武器輸出の問題点を追及した論戦を紹介し、「高市政権にノーの声を突き付けよう」と訴えました。

紙さんは、高市政権が米国のイスラエルの国際法・国連憲章違反の戦争を批判せず、殺傷能力をもつ武器輸出の全面解禁を閣議決定したことを

畠山さんは、大日本帝国憲法での、国民に主権がなく、女性の政治参加が認められず選挙権もない社会を変えたのは、日本国憲法ができたからですと強調。「いま日本と世界は歴史の分かれ道。危機と希望が交錯するなか、みんな声をあげて、平和国家として改めて歩む決意をしよう」と呼びかけました。



田村委員長と福島被災地を調査 (4月30日双葉町)

原発事故の被害は今も続いています。ところが、国は事故などなかったかのようにならぬよう進めています。原発ゼロの実現のために引き続き力を尽くします。岩淵友(いわぶち・とも) 日本共産党参議院議員

生業と暮らしを守るために
消費税減税
インボイス廃止
日本共産党

原発ゼロ実現へ
力尽くす

記あるかけあひ

4月末に田村智子委員長と、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から15年の福島、宮城を調査しました。

第一原発が立地する双葉町では、今も避難指示が解除されていない帰還困難区域にある住宅団地を案内してもらいました。家はそのまま、まるで人が住んでいるかのようでしたが、電線には蕨が何重にも絡まっていたらみ、草や木々が生い茂っています。

家を建て1年で避難せざるをえなくなったお宅、門柱の真ん中に木がどんと生

えている家もありました。人が住んでいればこんなことにはなりません。浪江町津島地区では、住民の方々から話を聞きました。ここは第一原発から30*離れた山間部で、事故当時は津波などから避難する町民を受け入れていました。ところが、当時の風向きなどで放射線量が高くなっていたことが、後からわかりました。帰還困難区域ですが、一部は国が除染などを行って避難指示を解除した地域になっています。

受け継がれてきたお祭りのこと、農作業のことなど、みなさんの話から事故前の豊かな暮らしがわかります。国は帰還困難区域のうち、戻れることを希望する家の回りを除染しようとしていますが、「面で汚して、点でしか除染しないのはおかしい」という声も次々出されました。